

令和7年度 あわじ環境未来島構想推進協議会総会 次第

日 時：令和7年5月27日（火）14:30～

場 所：淡路夢舞台国際会議場メインホール

1 開会

2 議事

〔規約関係〕

(1) 副会長の選任

(2) 規約の改正

(3) 企画委員会委員の指名

〔構想の現状と今後の取組〕

(4) あわじ環境未来島構想の推進状況

(5) 総合特別区域事後評価

(6) 活動状況報告等

①地域に人を繋ぎ、未来を拓く淡路ラボの挑戦

～「あわじ環境未来島モデル事業」で取り組んだ事業および淡路ラボとしての取り組みについて～

淡路ラボ事務局 山中 昌幸 氏

②ペロブスカイト太陽電池等を活用した地域脱炭素強化推進事業

兵庫県環境部環境政策課 温暖化対策官 井川 あゆみ 氏

③「淡路地域でのグリーン水素の地産地消の検討」について

兵庫県環境部水大気課 課長 高原 伸兒 氏

(7) 意見交換

3 閉会

資料1-1	副会長の選任
資料1-2	規約の改正
資料2	企画委員会委員の指名
資料3-1	あわじ環境未来島構想全体概要
資料3-2	あわじ環境未来島構想の主な取組状況
資料3-3	あわじ環境未来島構想取組一覧
資料4-1	総合特別区域事後評価
資料4-2	令和6年度地域活性化総合特別区域評価書の概要
資料4-3	令和6年度地域活性化総合特別区域評価書（案）
資料5	地域に人を繋ぎ、未来を拓く淡路ラボの挑戦 ～「あわじ環境未来島モデル事業」で取り組んだ事業および淡路ラボとしての取り組みについて～
資料6	ペロブスカイト太陽電池等を活用した地域脱炭素強化推進事業
資料7	「淡路地域でのグリーン水素の地産地消の検討」について
参考	

副会長の選任について

規約第 6 条に基づき、下記のとおり構成団体の長のうちから副会長を選出することについて承認を求める。

記

旧	新
淡路市長 門 康彦	淡路市長 戸田 敦大

規約の改正について

規約第 9 条に基づき、下記のとおり規約第 4 条に定める別表を改正することについて承認を求める。

記

1 改正の内容

(1) 団体の退会

団体の退会に伴い、別表（第 4 条関係）から以下の団体を削除する。

団 体 の 名 称	理 由
オリックス株式会社	退会申し出のため
アーセック・バイオエナジー株式会社	退会申し出のため

(2) 団体の名称変更

団体の申し出により、別表（第 4 条関係）の団体名称を変更する。

旧	新
株式会社ユーラスエナジー淡路	合同会社ユーラスエナジー淡路

企画委員会委員の指名について

規約第13条第2項の規定に基づき、下記のとおり企画委員会の委員を指名する。

	氏 名	職 名	備 考
学識者	中 瀬 勲	兵庫県立人と自然の博物館名誉館長・兵庫県立大学名誉教授	委員長
	手 塚 哲 央	京都大学名誉教授・大和大学情報学部教授	副委員長
	森 栗 茂 一	神戸学院大学人文学部教授・大阪大学招聘教授	
地域	児 玉 和 也	淡路医師会会長	
	津 田 豊	淡路市商工会会長	
	木 下 学	(一社)淡路島観光協会代表理事	
	古 川 卓 哉	(一財)淡路島くにうみ協会副理事長	
	原 口 和 幸	あわじ島農業協同組合代表理事組合長	
	片 山 守	(一社)淡路水交会会長	
	木 村 幸 一	第3期・第4期淡路地域ビジョン委員会委員長	
	木 田 薫	第5期淡路地域ビジョン委員会委員長	
	松 尾 昭 良	第6期・第7期淡路地域ビジョン委員会委員長	
	狩 野 揮 史	第8期淡路地域ビジョン委員会委員長	
	小 田 美 根 子	第9期淡路地域ビジョン委員会委員長	
	山 本 益 嗣	第10期淡路地域ビジョン委員会委員長	
	魚 住 幸 市	淡路地区連合自治会会長	
	海 部 伸 雄	淡路地方史研究会会長	
	相 坂 有 俊	淡路日の出農業協同組合代表理事組合長	
	本 名 孝 至	伊弉諾神宮宮司	
	河 野 さかゑ	「環境立島淡路」島民会議会長	
	雨 堤 徹	五色町商工会会長	
	琴 井 谷 隆 志	洲本商工会議所会頭	
	赤 穂 秀 樹	南あわじ市商工会会長	
行政	川 井 史 彦	兵庫県淡路県民局長	
	上 崎 勝 規	洲本市長	
	守 本 憲 弘	南あわじ市長	
	戸 田 敦 大	淡路市長	

あわじ環境未来島構想全体概要

淡路島の豊富な地域資源を活かし、住民主体・地域主導による生命つながる「持続する環境の島」の実現をめざします。

- ① 「エネルギーの持続」「農と食の持続」「暮らしの持続」の3つの持続を高める取組と総合的推進
- ② 3市での取組及び全島横断での展開の推進
- ③ 国の地域活性化総合特区制度を活用し、先駆的取組を推進

〈3つの持続と総合的推進〉

エネルギーの持続

- 地域資源を活用した再生可能エネルギー創出
 - 大規模未利用地における大規模太陽光発電事業の実施
 - 住民参加型太陽光発電事業の実施
 - 良好な風況を生かした風力発電所の整備
 - エネルギーの地産地消の推進（地域新電力による電力の地産地消 等）
 - 地域資源を活用した複合的なバイオマス利用
 - （バイオマス利用の推進、あわじ竹資源エネルギー化の推進、あわじ菜の花エコプロジェクトの推進 等）
- 家庭・事業所でのエネルギー消費最適化
 - 家庭・事業所での太陽光発電導入促進 外
- 環境に優しい脱炭素社会の推進
 - 電気自動車の普及促進（EVアイランドあわじ推進事業 等）
 - 水素によるエネルギー地産地消モデル構築の検討
 - カーボンニュートラル実現

あわじ環境未来島構想の主な取組状況

令和7年度あわじ環境未来島構想推進協議会総会

1 エネルギーの持続

(1) 大規模未利用地における大規模太陽光発電事業の実施



ア 事業概要

島内の土取り跡地等の大規模未利用地において民間事業者が淡路地域の豊富な日照を生かして大規模太陽光発電事業を実施している。今後、未利用地のほか再生利用が困難な荒廃農地やため池、建物の屋根等を活用した太陽光発電設備の導入促進を図る。

県、地元3市としては、総合特区支援利子補給金の活用に向けた調整等を行っている。



大規模太陽光発電所

イ 島内の立地状況

合計47ヶ所・総出力153.79MW ※出力が概ね1MW以上の施設で把握済のもの

【主な大規模太陽光発電施設】

発電事業者	場所	出力	発電開始
(株)クリハラント	淡路市佐野新島		

1 エネルギーの持続

(2)住民参加型太陽光発電事業の実施



ア 事業概要

県が住民参加型市場公募債（あわじ環境未来島債）を発行して島民を中心とした県民から調達した資金及び県有地を一般財団法人淡路島くにうみ協会に対して貸し付け、同協会が行う発電・売電事業により得た収益を淡路地域の活性化に活用する。

イ 実施場所

淡路市岩屋字西田（県立淡路島公園隣接地約1.4ha）

ウ 実施主体

（一財）淡路島くにうみ協会

エ 事業内容

- ・ 発電開始 平成26年 3 月
- ・ 発電出力 0.95MW
- ・ 年間発電量 1,197,17MWh（令和 6 年度実績）

【あわじ環境未来島債の概要】

1 エネルギーの持続

(3)良好な風況を生かした風力発電所の整備



ア 事業概要

淡路島沿岸の良好な風況を活用して、民間事業者が風力発電事業を実施している。

また、平成24～30年度にかけて、淡路島西岸沖合の海域において風況シミュレーション調査や環境アセスメントにかかる現地調査を実施するなど、洋上風力発電の事業化の可能性を探るため、事業関係者による検討が行われた。



風力発電所

イ 島内の風力発電所の設置状況

設 置 者	場 所	稼働時期	出力・基数
CEF南あわじウインドファーム(株)	南あわじ市阿那賀	平成18年	37.5MW (2.5MW × 15基)
(株)関電エネルギーソリューション	淡路市野島	平成24年	12.0MW (2.0MW × 6基)
合 計</			

1 エネルギーの持続

(5) バイオマス利用の推進



ア 事業概要

地元の豊富な資源を活用したバイオマスの複合利用として、市が事業者等と協働して実証事業等の取組を行っている。

イ 実施主体

南あわじ市、浜田化学(株)他

ウ 取組状況 (1 / 2)

事業名	事業主体	取組状況
廃食用油利用のバイオマス燃料高質化による農機燃料・発電利用	浜田化学(株) (H23～R3)	- 酵素触媒法BDF製造に関するFS調査を実施し、実証プラントを設置。プラントの連続運転試験と得られる液体燃料の長期使用試験等を実施 - 市内の廃校を、バイオ燃料の普及促進や6次産業化事業の拠点として活用

1 エネルギーの持続

(5) バイオマス利用の推進



ウ 取組状況（2／2）

事業名	事業主体	取組状況
玉ねぎの島淡路島のSDGs資源循環産業体系構築事業	南あわじ市（R2）	- 玉ねぎ残渣のバッチ試験やプラント試験、資源循環メインシステムの調査検討を行い、「南あわじ市資源循環産業体系マスタープラン」を策定（R3.3） - メタン発酵により発生するバイオガスを電力・熱利用するとともに、同時発生する消化汚泥を堆肥化し、バイオマス資源の地域内循環利用を目指す。
バイオマス資源によるメタン発酵事業化調査	南あわじ市（R2～R5）	「資源循環産業体系マスタープラン」に基づき、域内で発生する玉ねぎ残渣を含む野菜残渣、下水汚泥、漁業残渣等を処理するため、下水処理場併設型メタン発酵施設の事業化に向けた調査を実施する。
資源循環産業体系の総合的な見直し	南あわじ市（R6～R8）	- 令和2年度から検討を進めてきた資源循環産業体系のあり方に関して、事業費が高騰するなど、社会情勢が著しく変容していることを踏まえ、一旦原点に立ち返り、様々な手法をあらゆる角度から総合的に見直しを進める。 - 地域内のバイオマス資源を活用し、地域内での「エネルギー

1 エネルギーの持続

(6)あわじ竹資源エネルギー化の推進



ア 事業概要

島内に豊富にある竹資源をエネルギーとして活用するため、島内の温浴施設に大型竹チップボイラーを導入し、バイオマスエネルギーの利用を促進する。

イ 実施主体

県、島内3市、(一財)淡路島くにうみ協会

ウ 取組内容

(ア) 大型竹チップボイラーの導入

県のグリーンニューディール基金事業を活用し、島内の温浴施設に大型竹チップボイラーを導入し、竹資源のエネルギー利用の推進と竹資源の需要拡大を図る。

- ・導入施設 ウェルネスパーク五色 ゆ〜ゆ〜ファイブ（洲本市）
- ・導入設備(台数) 大型竹チップボイラー（1基）



島内の竹林

1 エネルギーの持続

(7)あわじ菜の花エコプロジェクトの推進

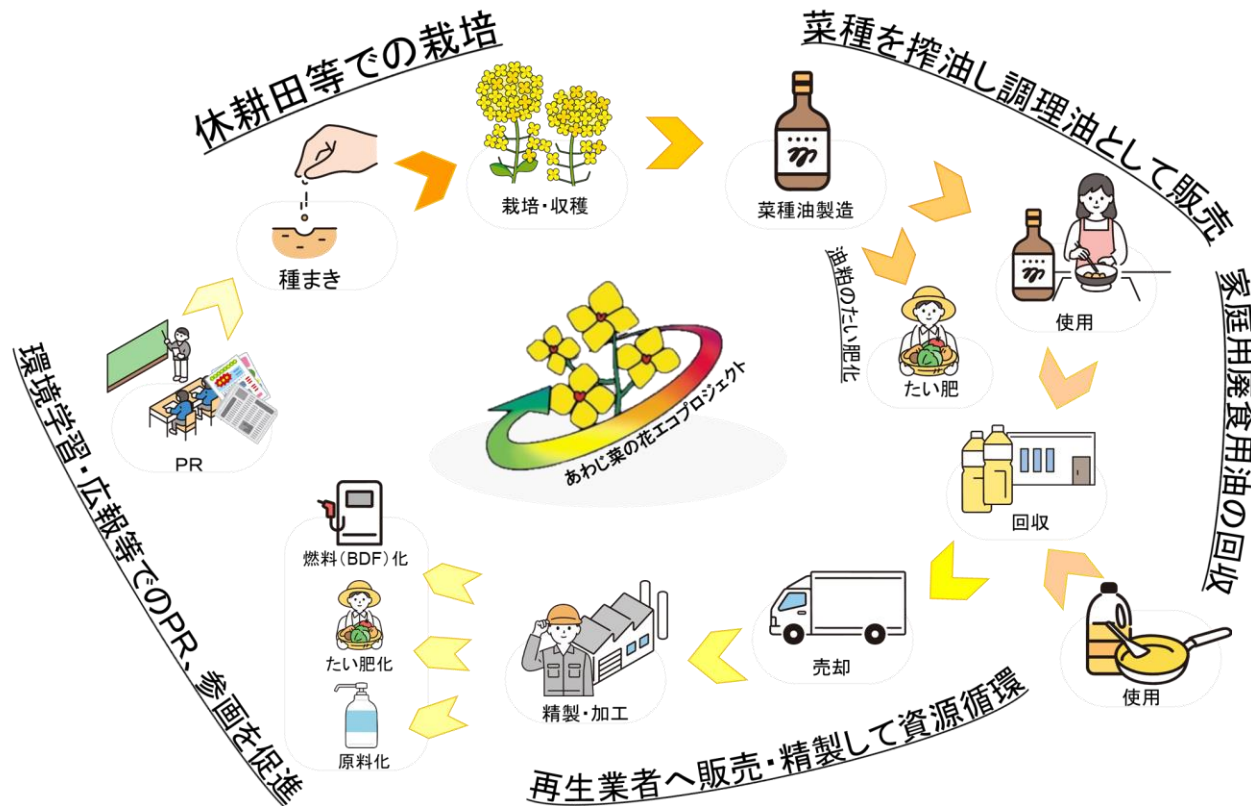


ア 事業概要

油糧作物の栽培収穫、搾油、食用油販売と、回収した廃食用油の再資源化（バイオディーゼル燃料など）による資源循環の取組を通じて、環境保全、農地保全、景観形成、特産品開発等による地域づくりを図る。

イ 実施主体

「環境立島淡路」島民会議、県、島内3市 他



1 エネルギーの持続

(8) 「EVアイランドあわじ」 推進事業



ア 事業概要

電気自動車（E V）の普及を推進するため、島内の個人及び事業者がE Vを導入する際に補助を行う。

イ 実施主体

県、(一財)淡路島くにうみ協会



電気自動車（EV）

1 エネルギーの持続

(9) エネルギーの地産地消推進事業



ア 事業概要

家庭の太陽光発電設備で発電された電力の自家消費を促進するため、蓄電システムを導入する島民に対して費用の一部を補助。

1 エネルギーの持続

(10)水素によるエネルギー地産地消モデル構築の検討



ア 事業概要

再生可能エネルギー電力からグリーン水素を製造し、地域の電源や熱源として水素エネルギーを地産地消するサプライチェーンの構築を目指し、島内外事業者との勉強会や需要調査等を実施する。

イ 実施主体

県、市、民間企業等

ウ 取組内容

- ・水素の活用方法として、モビリティ分野（FCV、FCバス）のみならず観光施設での熱利用（水素ボイラー等）や農漁業設備（FCフォークリフト等）も視野に入れ、水素機器メーカー等へのヒアリングや地元事業者への需要調査を行う。
- ・島内外事業者との意見交換会を定期的の実施し、グリーン水素のサプライチェーン（供給・輸送/貯蔵・活用）のモデル案を検討する。

1 エネルギーの持続

(11)カーボンニュートラル実現に向けたロードマップの作成



2 農と食の持続

(2)旧野島小学校施設用地利活用事業（のじまスコーラの設置・運営）



ア 事業概要

廃校した小学校を利活用し、地域活性化のシンボルとしてあらたな観光、6次産業化のモデル施設として位置づけ、耕作放棄地の有効活用、雇用創造、生産から加工、販売流通という6次産業モデルを確立する。

イ 実施場所

旧淡路市立野島小学校（H22.3末廃校）

ウ 実施主体

（株）パソナふるさとインキュベーション、淡路市他



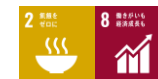
のじまスコーラ

エ 取組内容

平成24年8月に「のじまスコーラ」をオープンさせ、地域の6次産業化のモデル施設、地域活性化の拠点施設

2 農と食の持続

(4)南あわじ市あわじ島まるごと食の拠点施設の整備



ア 事業概要

地域が誇る農水産品の魅力を発信すると共に、ツーリズムと融合した6次産業化による付加価値の向上に取り組む拠点として、「南あわじ市あわじ島まるごと食の拠点施設『美菜恋来屋（みなこいこいや）』」を整備・運営している。



美菜恋来屋

イ 実施場所

南あわじ市八木養宜上

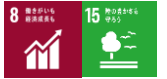
（淡路ファームパーク「イングランドの丘」に隣接）

ウ 実施主体

あわじ島まるごと(

2 農と食の持続

(5)北淡路先端ファームの形成



ア 事業概要

淡路島北部に位置する未利用農地を対象に、公募事業者の営農計画に合わせた基盤整備を行うなど、新たなビジネス参入により先進的な農業地帯の形成を目指す「北淡路先端ファーム」の形成を推進する。

令和5年度より、参入事業者の情報交換等連携のため「北淡路地区企業等連携促進協議会」を設置し、企業間連携を推進している。

イ 実施主体

県、淡路市、北淡路土地改良区

ウ 取組内容

- ・ 農業参入状況（R7.3末現在）
32者 83.3ha
- ・ 作付作物例：玉ねぎ、オリーブ、小麦、醸造用ブドウ等



参入事業者によるオ

2 農と食の持続

(6)食のブランド「淡路島」推進事業



ア 事業概要

淡路島の農畜水産物の生産・加工・流通関係者及び飲食・観光関係者が一体となり、「食の島」としてイメージされるようブランディングを進めるとともに、淡路島の豊かな食材を核とした魅力発信を行う。

イ 実施主体

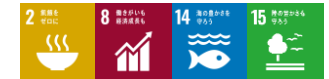
食のブランド「淡路島」推進協議会（県、洲本市、南あわじ市、淡路市等25団体で構成）

ウ 取組内容

- ・ 淡路島産食材こだわり宣言店の P R
（使用食材の 50%以上を島内産にした飲食店を「こだわり宣言店」として情報発信・P R）
- ・ 新たな食の魅力発信事業
（大阪・関西万博等の開催を契機とした淡路島産牛乳・乳製品のブランド力強化）
- ・ 淡路島産食材等販路拡大活動助成事業
（島内外で実施する P R 活動に対して支援するとともに、大阪・関西万博イベントにおける PR 活動を実施）
- ・ 淡路島産食材ネットワーク構築支援事業
（京阪神や首都圏等での商談会における出展や、商談活動に対して支援）
- ・ 淡路島産農畜水産物の

2 農と食の持続

(7)食料供給基地としての生産振興対策の推進



ア 事業概要

たまねぎ等の淡路島野菜の生産力強化や、淡路和牛や生乳の安定生産、資源培養型水産業の推進を図るとともに、生産を支える基盤整備を行う。

イ 実施主体

県、地域団体

ウ 取組内容（1／2）

項 目	内 容
淡路島農の担い手育成支援	・新規就農者の確保育成 新規就農者や定年帰農者を対象に基礎的な農業技術や知識の習得、相互の情報交換を図るため、「南淡路農業大学」を開催するとともに、インターンシップによる農業体験へ支援 ・女性農業者の経営参画促進 女性の農業経営への参画を推進するため、研修会や情報交換会等の開催を支援
淡路島農業のスマート化推進	農畜産物の生産性向上や労働負荷軽減のため、たまねぎ等の露地野菜向けの

2 農と食の持続

(7)食料供給基地としての生産振興対策の推進



ウ 取組内容（2／2）

項 目	内 容
「淡路島フルーツ」の生産力&品質向上推進	淡路島内での生産を特徴とする淡路島なるとオレンジや県下の主要な産地である淡路島いちじくの栽培管理技術向上等による生産拡大・品質向上を図る。
「淡路島の畜産」の生産力向上	・農協や生産者グループが実施する飼養管理の改善指導を支援 ・栄養価の高い飼料作物の導入を支援し、適切な飼料給与を指導
未来につなぐ淡路の豊かな海づくりの推進	・豊かな海発信事業 アオリイカの資源増大に向けた取組など淡路島の漁業者の活動を広く県民へ発信する活動を支援 ・増養殖技術開発等支援事業 養殖ワカメの自家採苗技術開発、養殖ノリの食害対策など増養殖技術や資源管理手法の開発・導入を支援

3 暮らしの持続

(2) 日本遺産を活用した「国生みの島」の推進事業



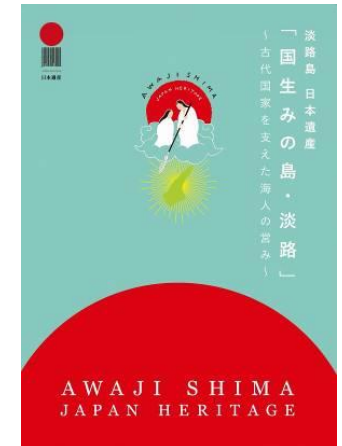
ア 事業概要

平成28年4月に認定された淡路島日本遺産を活かした地域活性化、ふるさと意識の醸成、淡路島の魅力発信を図るための取組を実施する。

イ 実施主体

県、島内3市、(一財)淡路島くにくみ協会、(一社)淡路島観光協会、(一社)淡路青年会議所等

ウ 取組内容



項 目	内 容
情報発信、 人材育成	淡路島日本遺産ホームページによる情報発信 淡路島日本遺産サポーター養成事業の実施 島内情報誌にて構成文化財等を紹介
普及啓発	淡路島日本遺産RPGの活用 淡路島日本遺産漫画ワールドカップの実施 ARを活用したコンテンツ造成事業

3 暮らしの持続

(3)夢舞台サステイナブル・パークにおけるコンパクトシティづくり



ア 事業概要

淡路花博跡地に淡路市が整備した淡路市夢舞台サステイナブル・パークにおいて、誘致した企業がデジタル技術を活用した多機能でサステイナブルなにぎわいと生活感のある整備を行う。

イ 実施主体

淡路市、民間事業者等

ウ 取組内容

- ・企業、社員住宅、病院、こども園など多様な機能を有するまちづくり
- ・ホテルやオフィス、多目的イベントホール等を整備予定
- ・自動運転や空飛ぶクルマの実証実験誘致予定
- ・関西看護医療大学の新キャンパスを開設予定

3 暮らしの持続

(4) 淡路島ゼロイチコンソーシアムの設立



ア 事業概要

ワーケーションを通して、淡路島での事業展開を目指す事業者と、島内の事業者（産業・資源）をつなぐプラットフォーム「淡路島ゼロイチコンソーシアム」を設立。淡路島で事業創出を目指す事業者をワンストップで支援し、外部人材や関係人口の増加によって地域課題の解決を図る。

イ 実施主体

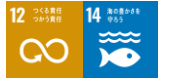
民間事業者、洲本市

ウ 取組内容

令和5年度に、淡路島クエストカレッジを設立。地域資源を生かす実践型フィールドワークの機会を提供し、学び関係人口の増加と地域活性化を図る。

3 暮らしの持続

(5)廃棄物対策とリサイクル徹底による環境保全



ア 事業概要

ごみの減量化や資源・食料の有効活用を図ることにより、持続する地域を推進する。また一斉清掃事業や淡路環境美化月間等の市民運動を子ども達の世代にも継承し、地域環境の美化を進めるほか、海洋プラスチックごみや漂着ごみ対策の実施により、美しい景観の保全を図る。

イ 事業主体

県、各市、地域団体等

ウ 取組内容

- ・ 環境立島淡路の実現のため、「淡路全島一斉清掃の日」などの清掃活動をはじめとする島民主体の活動をより一層推進
- ・ 率然的活動団体の取組支援
- ・ 「淡路環境美化月間」運動の推進
- ・ 淡路島海岸漂着ごみ対策の推進

3 暮らしの持続

(6)竹の新たな活用方策の実証



ア 事業概要

令和5年度ひょうごTECHイノベーションプロジェクトで採択した「竹を活用した土系舗装」の導入について実証実験を実施し、新たな活用策を探る。

イ 実施主体

県

ウ 取組内容

洲本総合庁舎駐車場への放置竹林の竹を活用した土系舗装の実証実験を行うとともに、普及啓発看板の設置、紹介DVDの作成によりPRを行う。

3 暮らしの持続

(7)健康長寿の島づくり



ア 事業概要

島民が安心して生活でき、共に支え合う住民主体の健康長寿の島づくりを

4 総合的取り組み

(3)あわじ環境未来島モデル事業

ア 事業概要

「あわじ環境未来島構想」の実現に向け、地域団体により行われる先駆的・モデル的な取り組みに対して支援を行う。

イ 実施主体

県、島内3市

ウ 取組内容

【令和6年度実施事業一覧】

区分	事業名 [団体名]
新規	大学生等まちなか滞在拠点「よりまち荘」改修整備事業 [洲本まちなか再生協議会]
	有機農業産地づくり（オーガニックビレッジ） [淡路市有機農業産地づくり協議会]
	持続できる地域をめざす事業 [生田地域活性協議会]
継続	笑い×コミュニティによる移住促進事業 [NPO法人島くらし淡路]
	淡路島の自然海浜における海と環境の推進 [一般社団法人IKUHART企画]
	2025年に向けた淡路島の魅力まるごと発掘＆発信作業 [淡路ラボ運営協議会]



**Hyogo
Prefecture**

